

二重まぶた手術法の分類整理

検討項目	埋没法			切開法				
	(皮膚側より)	粘膜側より		部分切開法	小切開法	全切開法	全切開法+目頭切開	しわとり手術
	1~3点縫合	2点縫合	4点縫合	3mm3カ所	10mm中央	二重全体		
	いわゆるプチ整形(プチ美容外科)			切開が多少目立つ可能性あり				
埋没法と切開法の違い	皮膚表面を縫わない(切開が1~2mm)			皮膚表面を縫う(3mm以上の切開)				
種類	従来法(クイック法)など	当院での方法(市田式)						
考え方の順	×	2		1	×	3	4	~
手術費用初回/両方(税別)	—	¥60,000	¥150,000	¥18,000	—	¥25,000	¥35,000	¥27,000~
／片方(税別)		¥60,000	¥100,000	¥13,000		¥18,000		¥35,000
糸の使用方法	粘膜側に糸を出して縫う「将来しこりの出来る可能性あり」			粘膜には傷を付けない				
一重に戻る可能性	かなり戻りやすい	戻りやすい		戻りにくい		まず戻らない	—	
皮膚切開	0.5~1mm以下で 1~3ヶ所の切開	無し 糸のガイドの為の針穴のみ		約3mmで3カ所の切開	10mm中央	二重全体	目頭に切開	二重より外側目尻まで
糸の結び目の有る所	皮膚表面の直下	粘膜側から瞼板上へ		中縫いは皮下深め				
結び目が皮膚から見える事が有るか	下方視で見える事が多い	見えない		見えない				
糸をとるには	3mm以上の切開をする可能性がある			再度部分切開	再手術		—	
元に戻せる可能性	一部の切開で可能性有	一部の切開で多少の可能性有		低い(まず不可能)		不可能		
手術中に瞼を返すか	瞼を何度もひっくり返す			確認時以外は目を閉じたままで行い、返す事はしない				
抜糸までの期間	皮膚を縫わないので抜糸の必要は無し			5日前後(4日目~6日目)				
皮膚のたるみの修正	不可能			不可能		皮膚切除可能		皮膚切除する
腫れた瞼の修正	不可能			難しい	脂肪抽出可能		—	抽出しない
手術適応などについて	出来れば埋没法はしない方が良いが1回なら可 取れた場合は2度目の適応は当院では無い			埋没法後の再手術では前回の糸を出来るだけ除去			個性が決まる所 なので慎重に	ご相談ください

利点	皮膚に傷跡が無い	糸が粘膜側に出ないので将来的な不安が無い		
	抜糸がいらぬ	傷跡が3~6ヶ月で ほぼ消失する	たるみ、腫れぼったさがとれる	平行型の 大きな目に見える 二重が可能
	翌日から化粧が出来る可能性がある		ハッキリした二重ができる	
	埋没法としては市田式4点法は比較的取れにくい		二重が取れにくい	
	腫れが少ない		切開部の傷跡が目立たなくなるのが数ヶ月かかる	
欠点	粘膜側に糸を出して縫う	抜糸の必要ある		
	一重に戻りやすい	10日ほどまぶたの化粧ができない		
	皮膚のたるみや腫れぼったさが取れない			
	中高年、コンタクトレンズ使用者は避けたい			
結膜炎の既往者は避けたい	目頭側の傷が 一時的に目立つ ことがある			
腫れ、内出血(最大3週間)、 傷跡のひき方	早くて3~5日ほど切開部の傷跡はほぼ消える			早くて1~2週間ほど傷跡が落ち着くのは2~6ヶ月